



BCP策定にあたってまず基本方針で設定する(イメージ)

関東大震災から100年 医療機関の危機管理とは

④

株式会社日本防災研究センター
人と防災未来センターリサーチフロア(医学博士)
古本尚樹

防災とは、災害による被害を未然に防ぐ、または被害の拡大を防止し、

医療機関のBCCP

トップと組織全体の共通認識が必要

被災からの復旧を図る取り組みのこと。またBCCP(事業継続計画)とは、自然災害や事故などのトラブルが発生した場合に企業が被害を最小限に留め、事業の継続や早期復旧を図るための計画である。

BCCPと防災の違いをサービスが途絶した場合

代替手段も用意する必要がある。BCCPと防災は重複する内容も多々あるため、両者は混同されがちな点である。

BCCPは、災害発生時のアクションを通じて被害の最小化と早期復旧を図るものであるため、災害発生「後」が対策を実施するタイミングになる。

BCCP策定の目的は、被災時の業務の有無を含め、診療のしなやかに行うか明確にする。災害時の行動計画については、初動対応(職員の安全確認、院内患者状況の確

認、内部通信手段の確保、被害情報等の収集)体制や搬送に関する体制、医薬品・ライフライン等およびその他付随業務を忘れないこと、付属して末尾に災害対策本部レイアウト図、災害対策本部必要備品等一覧、緊急連絡先リストを入れる。初動対応における医療機関全体の業務フローを固めるとわかりやすい。

防災とは、災害による被害を未然に防ぐ、または被害の拡大を防止し、

BCCP策定での視点は、自社を起点に社会全体へと向けられている点

BCCPは、災害発生時のアクションを通じて被害の最小化と早期復旧を図るものであるため、災害発生「後」が対策を実施するタイミングになる。

BCCPは、災害発生時のアクションを通じて被害の最小化と早期復旧を図るものであるため、災害発生「後」が対策を実施するタイミングになる。

BCCP策定の目的は、被災時の業務の有無を含め、診療のしなやかに行うか明確にする。災害時の行動計画については、初動対応(職員の安全確認、院内患者状況の確

認、内部通信手段の確保、被害情報等の収集)体制や搬送に関する体制、医薬品・ライフライン等およびその他付随業務を忘れないこと、付属して末尾に災害対策本部レイアウト図、災害対策本部必要備品等一覧、緊急連絡先リストを入れる。初動対応における医療機関全体の業務フローを固めるとわかりやすい。

BCCPと防災の違いをサービスが途絶した場合

代替手段も用意する必要がある。BCCPと防災は重複する内容も多々あるため、両者は混同されがちな点である。

BCCPは、災害発生時のアクションを通じて被害の最小化と早期復旧を図るものであるため、災害発生「後」が対策を実施するタイミングになる。

BCCP策定の目的は、被災時の業務の有無を含め、診療のしなやかに行うか明確にする。災害時の行動計画については、初動対応(職員の安全確認、院内患者状況の確

認、内部通信手段の確保、被害情報等の収集)体制や搬送に関する体制、医薬品・ライフライン等およびその他付随業務を忘れないこと、付属して末尾に災害対策本部レイアウト図、災害対策本部必要備品等一覧、緊急連絡先リストを入れる。初動対応における医療機関全体の業務フローを固めるとわかりやすい。

BCCP策定の目的は、被災時の業務の有無を含め、診療のしなやかに行うか明確にする。災害時の行動計画については、初動対応(職員の安全確認、院内患者状況の確

【参考文献】
https://astal.ert.jp/column/bcp-disaster-prevention
https://bizx.chatwork.com/bcp/disaster-prevention-difference/
https://www.fukushi-hoken.metro.tokyo.lg.jp/irvo/kyuukyuu/saigai/zisyoukeizokukeikaku.files/jppa/nsampulr.pdf